

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
医療コミュニケーション論演習		BNSB4E19	20306	2後	1(30)	必修
担当教員	平 英美					
概要	授業では、少人数のグループごとに模擬的な医療コミュニケーション・トレーニングを実施してその映像データを RIAS 等で分析する作業を主として行う。また、集大成として模擬患者(市民ボランティア)を用いたより実践的なトレーニングを導入する。					
学修目標	1) ロールプレイを通して、自分自身のコミュニケーションを分析、評価し、コミュニケーションの改善にフィードバックさせることができる。 2) RIAS や会話分析の技法を応用してデータを分析することができる。 3) データ分析の結果をわかりやすくまとめ、プレゼンやレポートとして発表することができる。					
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解		職業倫理と人権擁護	
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション	◎	適切な看護実践	○
回	学修内容			予習・復習内容		
1	オリエンテーション					
2	ロールプレイ①—シナリオを用いて看護場면을シミュレートする					
3	(2回と連続)			ロールプレイ①をコーディングする		
4	RIAS によるコーディングの確認と集計					
5	教員によるロールプレイと振り返り					
6	(5回と連続)					
7	ロールプレイ②					
8	(7回と連続)			ロールプレイ②をコーディング、プレゼン準備		
9	プレゼンテーション①—ロールプレイ①と②を分析する					
10	(9回と連続)					
11	市民模擬患者とのロールプレイ					
12	(11回と連続)			市民模擬患者ロールプレイのコーディング		
13	RIAS によるコーディングの確認と集計			プレゼン準備		
14	プレゼンテーション②—市民模擬患者とのロールプレイを分析する					
15	(14回と連続)					
使用テキスト	野呂幾久子、阿部恵子、石川ひろの『医療コミュニケーション分析の方法』三恵社					
参考図書						
成績評価基準	授業時のグループ・ワーク(RP参加、プレゼンテーション40%)、提出物(30%)、レポート(30%)					